

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公表番号】特表2018-500324(P2018-500324A)

【公表日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-532057(P2017-532057)

【国際特許分類】

C 0 7 C	311/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
C 0 7 C	311/29	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	311/16	C S P
A 6 1 K	31/18	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	1/16	

A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	25/04	
C 0 7 C	311/29	

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

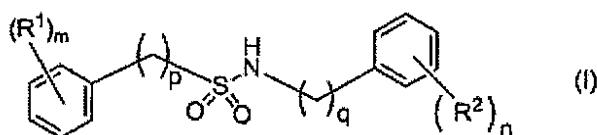
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物

【化1】



[式中:

mは、1から3までの整数であり；

nは、0から3までの整数であり；

pは、0から2までの整数であり；

qは、0から2までの整数であり；

R¹はそれぞれ、独立してC1-C3アルキル-X-から選択され；

Xはそれぞれ、独立して直接結合、O、およびSから選択され；

R²はそれぞれ、独立してC1-C3アルキル-Y-、およびフェニル-(CH₂)_z-Y-から選択され；

Yはそれぞれ、独立してOおよびSから選択され；

zはそれぞれ、独立して0および1から選択される]

またはその医薬的に許容できる塩を含む。

内分泌障害、心血管障害、呼吸器障害、代謝障害、皮膚障害、骨障害、神経炎症性障害、腎疾患、生殖障害、眼および/または水晶体を冒す疾患、ならびに/あるいは内耳を冒す状態、炎症性障害、肝疾患、痛み、癌、アレルギー性障害、外傷性障害、敗血症性、出血性およびアナフィラキシー性のショック、胃腸系の疾患または障害、異常な血管新生および血管新生依存性状態から選択される、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸オキシダーゼ活性に関連する状態または障害の治療用の医薬組成物。

【請求項2】

Xはそれぞれ、独立して直接結合およびOから選択される、請求項1の組成物。

【請求項3】

pは0である、請求項1または請求項2の組成物。

【請求項4】

Yはそれぞれ〇である、請求項1～3のいずれか1項の組成物。

【請求項5】

nは0または1である、請求項1～4のいずれか1項の組成物。

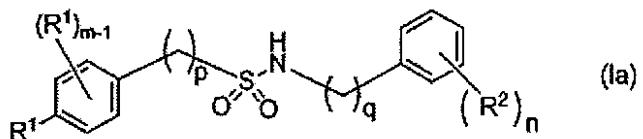
【請求項6】

R¹はそれぞれメチルおよびメトキシから選択され、R²はそれぞれエトキシおよびベニジルオキシから選択される、請求項1～5のいずれか1項の組成物。

【請求項7】

化合物が式(Ia)の化合物

【化2】

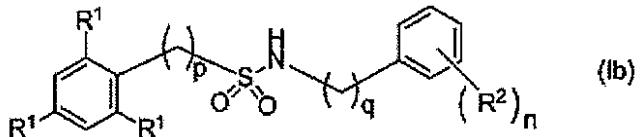


である、請求項1～6のいずれか1項の組成物。

【請求項8】

化合物が式(Ib)の化合物

【化3】



である、請求項1～7のいずれか1項の組成物。

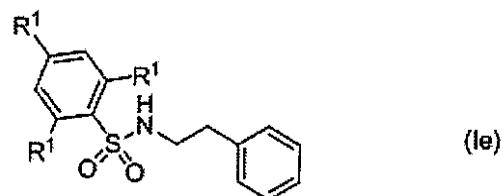
【請求項9】

qは2である、請求項1～8のいずれか1項の組成物。

【請求項10】

化合物が式(Ie)の化合物

【化4】

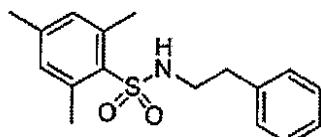


である、請求項1～9のいずれか1項の組成物。

【請求項11】

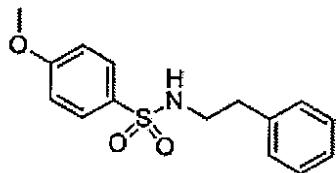
化合物が

【化5】



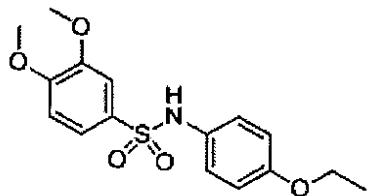
2,4,6-トリメチル-N-フェネチルベンゼンスルホンアミド；

【化6】



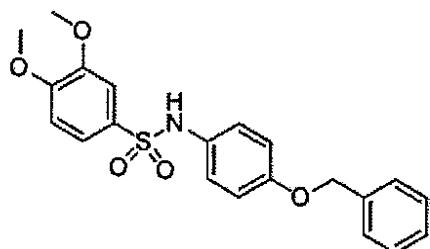
4-メトキシ-N-フェネチルベンゼンスルホンアミド；

【化7】



N-(4-エトキシフェニル)-3,4-ジメトキシベンゼンスルホンアミド；および

【化8】

N-(4-(ベンジルオキシ)フェニル)-3,4-ジメトキシベンゼンスルホンアミド
から選択される、請求項1の組成物。

【請求項12】

化合物が2,4,6-トリメチル-N-フェネチルベンゼンスルホンアミドである、請求項11の組成物。

【請求項13】

障害が、糖尿病、脳卒中、線維症、たとえば肺線維症、神経障害性疼痛、および糖尿病合併症、たとえば神経障害から選択される、請求項1~12の組成物。

【請求項14】

障害が脳卒中である、請求項13の組成物。

【請求項15】

障害が線維症である、請求項13の組成物。